

日本人における大動脈解離の解剖学的特徴を解析する多施設後ろ向き観察研究に関する研究

1. 研究の対象

2000年4月1日から2016年11月30日までに、当院にてCT検査を施行され、大動脈解離を有するとされた方

2. 研究目的・方法

以前から人種間および地域により、患者の背景や解剖学的特徴が異なることはよく知られた事実です。しかしながら、アジア人において多いとされている大動脈解離では、その解剖学的特徴 研究の殆どが欧米諸国からの報告で、アジアからの報告は少なくなっています。そのため、今回われわれは、日本人における大動脈解離の解剖学的特徴を解析する多施設後ろ向き観察研究を計画し、その理解を深めることにより、将来的な治療の手助けとなることを期待します。方法ですが、2000年4月1日から2016年11月末まで、大動脈解離に対し、CT検査を受けられ2た皆さんの診療情報（カルテから得られる診療情報、手術時記録など）、画像情報を解析します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本調査におきましては、対象となる患者さんの、基礎疾患、大動脈解離の解剖に関して、診療録、検査データ、画像データの記録を参考に調査致します。

4. 外部への試料・情報の提供

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

5. 研究組織

| | |
|------------|-------|
| 東京都済生会中央病院 | 藤村 直樹 |
| 奈良県立医科大学 | 市橋 成夫 |
| 慶應義塾大学 | 井上 政則 |
| 平塚市民病院 | 屋代 英樹 |

| | |
|-----------|-------|
| 大分大学 | 本郷 哲央 |
| 和歌山県立医科大学 | 中井 資貴 |
| 沖縄県立中部病院 | 東浦 渉 |

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

防衛医科大学校 放射線医学講座 助教 須山陽介

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2 電話：04-2995-1211

研究代表者：

東京都済生会中央病院 血管外科 藤村 直樹